

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公開番号】特開2017-140324(P2017-140324A)

【公開日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-25341(P2016-25341)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月29日(2018.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な第一始動口と、

遊技球が入球可能な第二始動口と、

第二始動口に取り付けられた、開放状態及び閉鎖状態に変位可能な可変部材であって、開放状態に変位したときには第二始動口に遊技球が入球可能又は閉鎖状態と比較して入球容易であり、閉鎖状態に変位したときには第二始動口に遊技球が入球不能又は開放状態と比較して入球困難に構成されている可変部材と、

閉状態と開状態とを採り得る可変入賞口と、

第一識別情報を表示可能な第一識別情報表示部と、

第二識別情報を表示可能な第二識別情報表示部と

を備え、

第一始動口への入球に基づき、第一乱数を取得する第一乱数取得手段と、

第一乱数取得手段が取得した第一乱数に基づき、第一識別情報表示部にて第一識別情報を変動表示した後、第一識別情報を停止表示するよう制御する第一識別情報表示制御手段と、

第二始動口への入球に基づき、第二乱数を取得する第二乱数取得手段と、

第二乱数取得手段が取得した第二乱数に基づき、第二識別情報表示部にて第二識別情報を変動表示した後、第二識別情報を停止表示するよう制御する第二識別情報表示制御手段と、

第一識別情報又は第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示された後、可変入賞口への所定個数の入球があるか又は所定期間が経過するまで可変入賞口を遊技者にとって有利な状態とし得る単位遊技を実行する特別遊技を実行可能である特別遊技制御手段と

を備え、

可変部材の開放容易性に関する遊技状態として、通常遊技状態と、通常遊技状態よりも可変部材が開放し易い特定遊技状態とを有しており、

第一識別情報又は第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示される確率が所定確率となる低確率抽選状態と、第一識別情報又は第二識別情報が所定グル

プに属する停止表示態様にて停止表示される確率が当該所定確率よりも高確率となる高確率抽選状態とを有しており、

特別遊技が実行されていない状況下において高確率抽選状態且つ特定遊技状態を設定可能であり、

特別遊技が実行されていない状況下において低確率抽選状態且つ特定遊技状態を設定可能であり、

特別遊技が実行されていない状況下において低確率抽選状態且つ通常遊技状態を設定可能であり、

高確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、低確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、低確率抽選状態且つ通常遊技状態にて第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、特別遊技の実行終了後には特定遊技状態が設定されるよう構成されており、

高確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第一識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、低確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第一識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、特別遊技の実行終了後には特定遊技状態が設定される一方で、低確率抽選状態且つ通常遊技状態にて第一識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合、特別遊技の実行終了後には通常遊技状態が設定される場合があるよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、

遊技球が入球可能な第一始動口（例えば、第1主遊技始動口A10）と、

遊技球が入球可能な第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）と、

第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）に取り付けられた、開放状態及び閉鎖状態に変位可能な可変部材であって、開放状態に変位したときには第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）に遊技球が入球可能又は閉鎖状態と比較して入球容易であり、閉鎖状態に変位したときには第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）に遊技球が入球不能又は開放状態と比較して入球困難に構成されている可変部材（例えば、第2主遊技始動口電動役物B11d）と、

閉状態と開状態とを採り得る可変入賞口（例えば、第1大入賞口C10、第2大入賞口C20）と、

第一識別情報を表示可能な第一識別情報表示部（例えば、第1主遊技図柄表示部A21g）と、

第二識別情報を表示可能な第二識別情報表示部（例えば、第2主遊技図柄表示部B21g）と

を備え、

第一始動口（例えば、第1主遊技始動口A10）への入球に基づき、第一乱数を取得する第一乱数取得手段と、

第一乱数取得手段が取得した第一乱数に基づき、第一識別情報表示部（例えば、第1主遊技図柄表示部A21g）にて第一識別情報を変動表示した後、第一識別情報を停止表示するよう制御する第一識別情報表示制御手段と、

第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）への入球に基づき、第二乱数を取得する第二乱数取得手段と、

第二乱数取得手段が取得した第二乱数に基づき、第二識別情報表示部（例えば、第2主遊技図柄表示部B21g）にて第二識別情報を変動表示した後、第二識別情報を停止表示するよう制御する第二識別情報表示制御手段と、

第一識別情報又は第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示された後、可変入賞口（例えば、第1大入賞口C10、第2大入賞口C20）への所定個数の入球があるか又は所定期間が経過するまで可変入賞口（例えば、第1大入賞口C10、第2大入賞口C20）を遊技者にとって有利な状態とし得る単位遊技を実行する特別遊技を実行可能である特別遊技制御手段と  
を備え、

可変部材（例えば、第2主遊技始動口電動役物B11d）の開放容易性に関する遊技状態として、通常遊技状態と、通常遊技状態よりも可変部材が開放し易い特定遊技状態とを有しており、

第一識別情報又は第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示される確率が所定確率となる低確率抽選状態と、第一識別情報又は第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示される確率が当該所定確率よりも高確率となる高確率抽選状態とを有しており、

特別遊技が実行されていない状況下において高確率抽選状態且つ特定遊技状態を設定可能であり、

特別遊技が実行されていない状況下において低確率抽選状態且つ特定遊技状態を設定可能であり、

特別遊技が実行されていない状況下において低確率抽選状態且つ通常遊技状態を設定可能であり、

高確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、低確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、低確率抽選状態且つ通常遊技状態にて第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、特別遊技の実行終了後には特定遊技状態が設定されるよう構成されており、

高確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第一識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、低確率抽選状態且つ特定遊技状態にて第一識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合であっても、特別遊技の実行終了後には特定遊技状態が設定される一方で、低確率抽選状態且つ通常遊技状態にて第一識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示されて特別遊技が実行された場合、特別遊技の実行終了後には通常遊技状態が設定される場合があるよう構成されている  
ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。